

# 摩耗痕試験

## 試験機による摩耗度の違い

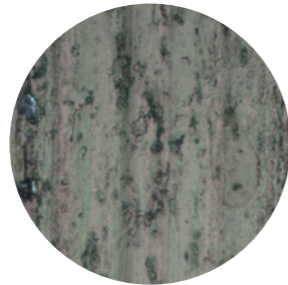
荷重試験機で一般的なエンジンオイルとベルハンマー7を10%添加したエンジンオイルによる摩耗痕テストを行いました  
 一般的なエンジンオイル(画像左)はキメが粗く、引き裂かれた摩耗痕が見受けられます  
 一方、ベルハンマー7を10%添加したエンジンオイル(画像右)はキメが細かく、摩耗痕も少ないという結果が得られました



荷重試験機



一般的なエンジンオイル



ベルハンマー7

※同倍率画像

### BELL HAMMER 7 仕様概要

内 容 量	330ml
成分及び含有量	鉱油・減摩剤
種類及び型式	ボトル容器
用 途	ガソリン車専用 エンジンオイル

第4類第4石油類 危険等級Ⅲ

## ~ ベルハンマーシリーズのラインナップ ~

BELL HAMMER



LS BELL HAMMER



LS BELL HAMMER HS No.11 GOLD



H1 BELL HAMMER



ベルハンマー7の  
商品ページは  
こちらから⇒



BELL HAMMER シリーズの製品は、  
スズキ機工(株)オンラインSHOPにてご購入できます。

ベルハンマー

検索

●製造販売元

スズキ機工株式会社

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3

TEL: 047-385-5311 FAX: 047-385-5313

E-mail: info-new@suzuki-kikoh.com

Create the Imagination  
**SUZUKI KIKOH**

www.suzuki-kikoh.com



# BELL HAMMER

ガソリン車専用  
エンジンオイル添加剤

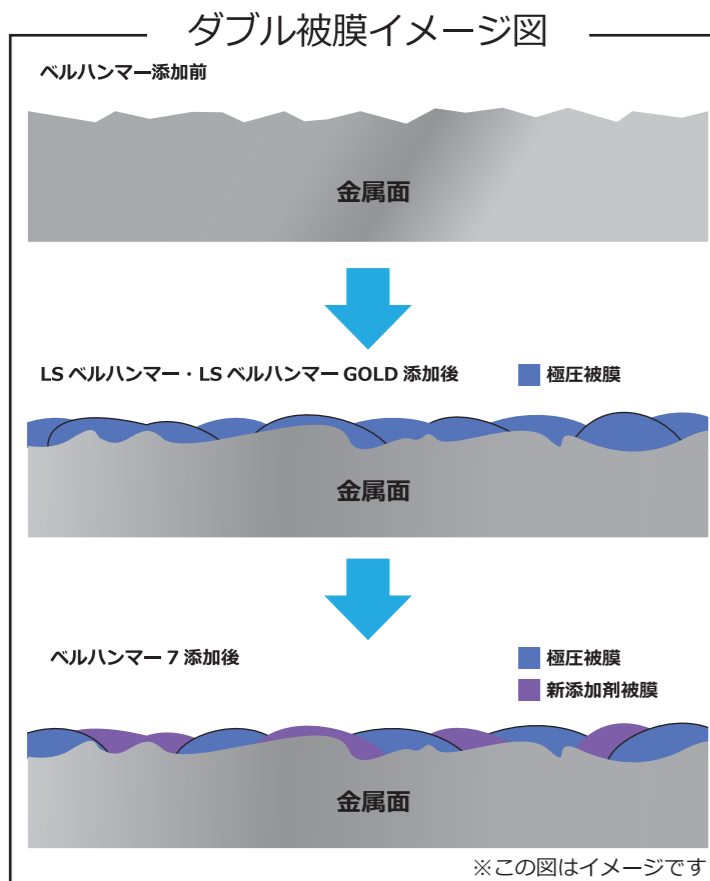


Debuted in October 2020



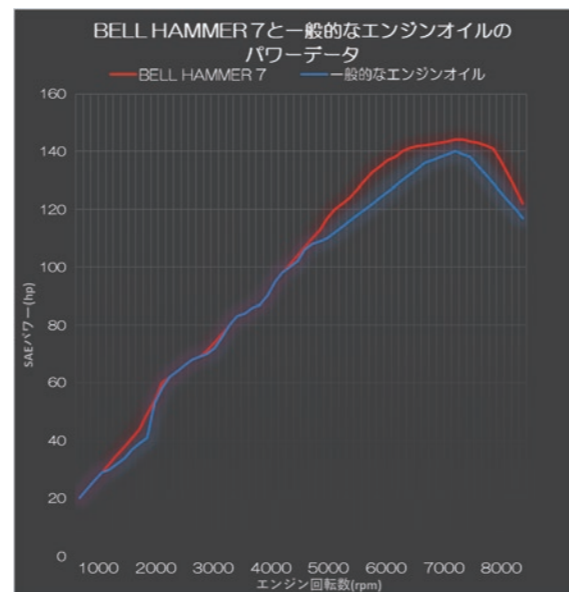
# 特長

- ◎ エンジン・レスポンス向上 ◎ 異音・振動の減少
- ◎ エンジン寿命の延命 ◎ ドライスタート時のエンジン保護



- ベルハンマーを添加していない金属表面ノーマルオイルのみ添加した状態のエンジン内部の金属面イメージ図です
- LS ベルハンマーを添加した金属表面LS ベルハンマー原液のEP(極圧剤)が作用し金属表面に極圧被膜が形成、しかし被膜形成の持続力が課題でした・・・
- ベルハンマー7のダブル被膜イメージ図新配合の有機モリブデン系添加剤とEP(極圧剤)が相乗効果を発揮することで、金属表面の摩擦低減と保護・延命を今までにないレベルで実現します！

試験車にベルハンマー7を添加してどう変化したかパワーデータを取りながら、一般的なエンジンオイルと比較検証しました



このグラフはベルハンマー7を試験車に添加前と添加走行後に計測したデータです

最大5%の出力UPには正直驚きました走行距離の多い車なので出力の差が大きくなったと考えられます

※結果は車両のコンディションや環境によって数値に差が出ます

## 試験ドライバーからのコメント

- ・エンジン始動時からアイドリングが静かで安定している
- ・走行中、アクセルを離してからのフリクションが少なく、燃費向上に繋がっている
- ・エアコンを使用しても出力が下がらない
- ・加速時、吹き上がりが良好(レスポンスが良い)

# 燃費試験

ベルハンマー7 添加前と添加後で燃費がどう変わるのか？  
同一条件にて約180km 街乗りテストをしました  
添加前は燃費が12.6km/L、  
添加後は燃費が14.8km/Lに  
燃費が2.2km/L・約14%アップしました



燃費  
**2.2km/L UP!!**  
約14%UP!!

※燃費試験は車両のコンディションや環境によって数値に差が出ます

# 使用方法

## 使用順序

1. **エンジンを止めて**オイルフィルターキャップを開ける
2. 本品を注油口から1本全量を注ぐ **火傷に注意!**
3. 注油後オイルフィルターキャップを締め、5分程度のアイドリング後、オイルの量が適正範囲内であることをレベルゲージで確認  
この時オイルゲージの上限と下限の間にオイルが入っていればOK

## 使用量

エンジンオイル量3~7Lに本製品1本の割合で添加  
(エンジンオイル量の**5~10%**が添加量の目安)

## 添加サイクル

**エンジンオイル交換ごとの添加を推奨**

## 注意事項

- ・注油の際、水やゴミが入らないようにする
- ・他の添加剤と混合禁止・本品を一度で使い切る
- ・**湿式クラッチのバイク等のエンジンオイルへの添加は絶対にしない**
- ・ブレーキやクラッチなど摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しない
- ・2サイクルオイルの代わり及び添加剤には使用しない  
(オイルが分離し、2サイクルオイルがエンジンに供給されない可能性有り)
- ・ディーゼルエンジンへの添加は推奨しない



# パワーデータ検証